



AICJ NEWSLETTER

2025
July

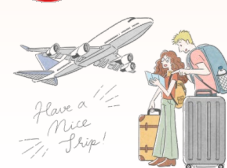
AICJ中学・高等学校 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目1-15 TEL:082-832-5037

本校は、2009年に西日本第1号の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

JAL日本航空主催 ✈️ 高校生動画万博 🏆 最優秀賞受賞



JAPAN AIRLINES



作品は
こちら



受賞をお知りになった枝広福山市長がわざわざ本校にお越しくださり、2名の受賞をお祝いしてくださいました。遠方からありがとうございました。写真は、左からクーバー校長・田辺さん・多根さん・枝広福山市長。

常
夜
の
燈
浦

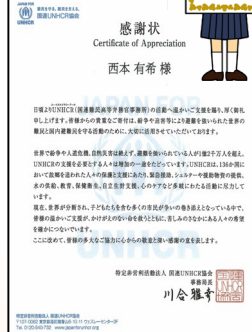
《田辺さんと多根さんのコメント》

プラン作成から完成まで約1週間で仕上げたのですが、著作権関連の手続きが大変でした。地元、鞆の浦への愛と魅力が伝わると嬉しいです！副賞の航空券で沖縄に行ってきます♡

高校生の視点で「地元のマチの素晴らしさを動画でアピールしよう！」をテーマに多くの作品が出品された中、本校の田辺理世さん・多根彩葉さん2名の、福山市の鞆の浦を舞台に作成した動画が、見事、最優秀賞を勝ち取りました。タイトルは、「Welcome to 鞆の浦」です。



国連UNHCR協会より 感謝状が授与されました！



オリジナルで作成した平和の願いを込めたpaintings (ペイントシール)を広島ゲートパークでのイベントで販売。その売り上げを国連へ寄付する活動を行いました。



生徒作成ペイントシール



左より高3の湯地真彩さん、西本有希さん、村中詩さん、大山琴子さん

2025 Economics Asia Convention ★アジア第3位に

祝



ECONOMICS
ASIA CONVENTION



《受賞した麻生虎太郎くんのコメント》

文化の違いなど、多くの困難を乗り越え、自信につながりました。これからも知識や洞察を深め経済学を一層楽しんでいきたいです。



詳しくは
こちら



麻生虎太郎くんが、全国高校生金融経済クイズ選手権エコノミクス甲子園にエッセイ選考特別枠で出場し、全国のトップ10に選出されました。アジア各国の優秀な高校生たちと約1週間の最終選考合宿に参加し、「ビジネスケース」部門でアジア3位に輝きました。



JTBによる「新・SDGs ワークショップ “Decade of Action”」開催

本校では、中学1年生から高校3年生までが、縦割班で昼休み後の清掃を行っています。定期的に行われる全校生徒で行うASC活動もそのグループで行います。今回は、JTBの方にお越しいただき、SDGsに関わるワークショップを開催しました。JTBの講師の方をお招きし、2030年がゴールとされているSDGsについて改めて知る時間をつくり、「このままだと将来の生活がどうなるのか」を学び、「自分たちに今できることは何か」を考えることができました。



オーストラリア Knox Grammar School 学生16名と交流しました



盛り上がるカルタ取りの様子

生徒が作成したカルタ



最後にみんなで揃って記念写真撮影

オーストラリアのKnox Grammar Schoolの学生16名と先生3名がAICJ中学・高等学校に来校し、IB11の生徒と交流しました。Knoxの皆さんをお招きするにあたり、IB11の有志8名が2月頃より準備をしてきました。交流会一番の盛り上がりは、このためにオリジナルで準備した「カルタ」でした。本校の生徒より多くのカルタを取ることができたKnoxの生徒が大勢いました。最後にこのカルタをプレゼントしました。

第6回高校生模擬裁判選手権in広島★2年連続出場 祝 初優勝



山田先生が本校にお越しくださいましてお祝いいただきました。



優勝した7名のAICJ弁護士

昨年初めて参加させてもらった高校生模擬裁判選手権ですが、今年参加した本校の7名が、初優勝を成し遂げました。ご指導頂いた本校卒業生の山田先生をはじめ弁護士の先生方には心から感謝申し上げます。



産経新聞社主催★第29回約束(プロミス)エッセー大賞で2名入賞

《このコンテストの紹介》

エッセーを通じて人生を見つめ直し、人間関係・約束の大切さを再認識することを基本コンセプトにスタート。1995年に第1回を開催してから、今回で29回目を数えます。学生からお年寄りまで幅広い層から応募があります。

二人の作品はこちらからご覧いただけます。



《佳作：渡辺 吏乙渚さん(左)》

自分の生活の一片が小説のようになったのがすごく不思議な気分でした。受賞については素直に嬉しく、自分の文章に自信が持てるようになったのでとてもいい機会になりました。

《10代の約束賞：國木 咲良さん(右)》

私にとって初めての授賞式で緊張、不安という気持ちが最初は大きかったのですが、参加したことで、1つのエッセーコンテストにたくさんの方の協力があるのだということをより実感することができました。